

## 2.4 学修の成果に係る評価

### 松本看護大学 学生便覧より抜粋

#### 成績評価

本学の履修規定（第10条）に基づいて、試験結果が評価されます。

#### 1) 再履修（※参照：履修細則4、5条）

履修規定第10条の成績評価が不合格になった場合には、次セメスター以降の再履修ができません。

なお、再履修する場合には、その科目が開講されているセメスターの履修登録時に、再度履修登録をしてください。

#### 2) D評価再試験（※参照：履修細則第5条）

D評価再試験とは、定期試験（追・再試験を含む）を受験した上で不合格となった場合に、単位を認定するための試験をいいます。D評価再試験は次セメスター以降に行います。

①D評価再試験を実施する科目は、必修科目、選択科目です。

②D評価再試験の有効期限は、D評価となった履修の次年度までとします。

③D評価再試験の成績評価は、「可」及びD評価の2段階です。

④D評価再試験を受験しなかった場合又はD評価再試験が不合格（D評価）になった場合は、有効期限の次セメスター以降に再履修（受講を伴う）をしてください（この場合は5段階評価となります）。

⑤D評価再試験を受験する場合は、D評価履修登録し、指定の期日までに「D評価再試験受験願」に再試験料3,000円（1科目）を添え、学務課に提出し許可を得てください。D評価再試験手続きを行わなかった場合は、D評価再試験を受けられません。

なお、事前に科目担当者に連絡をとり、その学期の講義内容、テキスト、試験方法について指導を受ける必要がありますが、学生の主体的な依頼によって行われるものです。教員側からプログラムを組んで指導することはありません。

また、次年度にD評価再試験を受けるか、前頁の9-1)で述べるように再度科目履修をして定期試験を受けるかは、本人がどちらかを選択する必要があります。

#### ※E評価（※参照：履修細則第6条）とは

次に定めるものの成績評価は、E評価(未受験)とします。未受験となった理由は下記の①～⑤に該当する場合、E評価と記します。

① 科目履修申請をしたが、受験資格がなくなった場合

② 電話等による連絡をせずに欠席した学生で、かつ試験日の原則3日以内までに理由書の提出がない場合

③ 定期試験後、再試験を受験しても合格の見込みがないと科目担当者が判断した場合

④ 再試験後、D評価再試験を受験しても合格の見込みがないと科目担当者が判断した場合

⑤ 定期試験後、再試験の申請をしなかった場合

### 3) 成績ランク

入学後から履修した科目を対象として、セメスターごとに成績の順位付けをし、その決定には履修科目の累積 GPA の数値を利用します。累積 GPA が同点の場合には同じ順位となります。

### 4) 成績発表・配布

修得した授業科目、単位数、成績評価、GPA は成績表に記載され、各セメスターのガイダンス時にチューターから学生に配付されます。

なお、各セメスター末には連帯保証人（保護者）に成績表が郵送されます。

成績表配付及び保証人送付は下記のように、年 2 回行います。履修計画を立てるうえで、重要なものですので、必ず成績を確認してください。

1 回目…前期の成績評価は後期ガイダンス時にチューターと面談した際に成績表を渡します

2 回目…後期の成績を総合した評価は、翌年度の前期ガイダンス時にチューターと面談した際に成績表を渡します。

### 5) 成績への質問

ガイダンス時にチューターから渡された成績について、順位を知りたい学生は教務課に問い合わせてください。順位以外で成績に疑義がある場合は、成績表配付後 1 週間以内に限り、次の方法で確認することができます。

専任教員の科目：面談のアポイントメントを取り、直接確認する。

非常勤教員の科目：「成績質問用紙」に必要事項を記入し、教務課に提出し、後日、回答を受け取る。

（注意）所定の試験を受けていない、授業に 3 分の 2 以上出席していない科目についての質問はできません。

### 6) 卒業延期について（※参照：履修規定第 14 条）

セメスター制度導入のため 1～4 年次に進級する段階で、留年はありません。しかし、4 年次の卒業判定時に卒業要件を満たしていない場合は、卒業は認められません。その場合、教授会の審議を経て卒業延期となります。

## GPA（Grade Point Average）制度とその活用

本学では、履修科目の修得レベルを示す基準として、GPA 制度に基づいた成績評価を行います。成績を客観的に自己評価し、より自発的に勉学に取り組むために活用してください。

### 1) GPA とは

履修した科目の成績評価を「秀」から「不可」までの5段階で評価し、それぞれのグレードポイント（4.00点から0.00点）に置き換えて1単位あたりの平均点を算出します。これを GPA といい、セメスターごとに計算した学期 GPA と入学後から現在までに履修したすべての科目（累積成績）をもとに計算する累積 GPA の2種類が成績表に表記されます。ただし、入学時に既修得単位として認定された科目については、GPA の計算から除外します。

### 2) GPA 算出方法

下記の計算式により、GPA を算出します。

$$\text{学期 GPA} = \frac{\text{(当該学期の履修科目の GP} \times \text{当該科目の単位数) の総和}}{\text{当該学期の履修登録した履修科目の総単位数 (不合格の単位数を含む)}}$$

\* 学期 GPA、学年 GPA、累積 GPA の3種類があります

### 3) 成績評価基準

下記の基準により、成績評価を行います。

評価名	区分	評点	GP	評価基準
秀	合格	100~90	4.0	当該科目の目的・内容をほぼ完全に修得し、応用力が付いたと認められる
優	合格	89~80	3.0	当該科目の目的・内容を十分に理解し、修得したと認められる
良	合格	79~70	2.0	当該科目の目的・内容の基幹部分は理解し、修得したと認められる
可	合格	69~60	1.0	当該科目の目的・内容の最低限の理解は得られたと認められる
不可	不合格	59~0	0.0	当該科目の目的・内容の理解には及ばない

### 4) GPA の活用

GPA は、以下の目的に利用されます。

① 学生が履修計画を立てる際の参考とする。

キャップ制の基準が、GPA によって変動する場合がある。

- ② 大学が、学生の学修到達度を把握する  
GPA が著しく低い場合は、チューターからの指導対象となる。
- ③ 大学が、教育の評価・検討の資料として利用する。(科目間や学生間の GPA の分布など)
- ④ 大学が、特待生・表彰者などを選出する際の参考資料とする。